

第15回アディクション・フォーラム
in TOTTORI 2024

それって 依存症かも

わかつとるけどやめられんだがー

2024
10/26.土

参加
無料

受付／9:15～ 10:00～16:30

午前 講演会 午後 分科会・体験発表

定員／200名 ※定員に達した時点で入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。

会場／鳥取県立福祉人材研修センター

(分科会／各研修室) 鳥取市伏野1729-5 ☎0857-59-6330

- 手話通訳・要約筆記あり(講演・体験発表のみ)
- 依存症でお悩みの方や家族のための相談を受け付けます。お気軽に声を掛けください。



※状況に合わせてマスクの着用にご協力ください。



※当日、体調のすぐれない方の入場はご遠慮ください。

■お問い合わせ／事務局 090-7372-7226(安部) 鳥取県断酒会 0859-54-3421(杉原方)
鳥取ダルク 0857-72-1151 メール:abe_takaaki@tottori.med.or.jp

■主 催／鳥取アディクション連絡会

■後 援／鳥取県、鳥取市、岩美町、鳥取県立精神保健福祉センター、鳥取県精神保健福祉士会、(公社)鳥取県医師会
(公社)鳥取県東部医師会、(一社)鳥取県薬剤師会、(公社)鳥取県看護協会、(一社)日本精神科看護協会鳥取県支部
鳥取県保護司会連合会、鳥取県更生保護女性連盟、鳥取保護観察所、(株)新日本海新聞社、朝日新聞鳥取総局
読売新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、山陰中央新報社、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ
日本海ケーブルネットワーク、エフエム山陰、FM鳥取(順不同)

第15回 アディクション・フォーラム in TOTTORI 2024

依存症は病気です。誰でもかかる可能性がある病気です。放っておくと最悪、死に至ることも少なくありません。自分だけの力で依存症から抜け出そうとしても、この病気を克服することはとても困難です。依存症からの回復には支援が必要です。

・・・ご本人にも、ご家族にも・・・

ひとりで問題を抱え込まずに、理解してくれる人がいることを信じて、一步踏み出してみませんか。そして、同じような経験をしてきた方の話をきいてみませんか。さまざまな体験にふれることで、生きる道しるべを見つけることができるかもしれません。

私たちは、ひとりでも多くの人に依存症問題を知っていただき、その苦しみが軽減されるようにと願っています。仲間と協力しながら依存症からの回復に取り組んでいる当事者・家族のメッセージをぜひお聞き下さい。



はし もと のぞむ
橋本 望

地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター
臨床研究部長

依存症学修士(キングス・カレッジ・ロンドン精神医学研究所)、医学博士(岡山大学)

NPO法人リカバリー・ポイント(岡山ダルク・鳥取ダルク)理事、中国四国アルコール関連問題学会 理事

日本アルコール・アディクション医学会 学術評議員

岡山市出身です。両親が大学教授という目に見えないプレッシャーのもと、父親が単身赴任であったため、ある意味では放任された環境で育ちました。高校生の頃から音楽活動を始め、様々なジャンルの音楽にのめり込みました。大学時代は、部屋にジミ・ヘンドリックスのポスターを掲げて崇拜していました。英国への留学を決意し、音楽活動を止めて依存症臨床に専念しました。過酷な状況の中でも回復を見せる人、思わぬタイミングで命を落とす人、大きく異なる経過をたどる人の、その分岐点は何なのか?その探求の途上ですが、少しばかり皆さんの参考になる話ができればと思います。

プログラム

- 10:00～オープニング 来賓あいさつ(ホール)
10:15～講演 依存症治療の新しい視点
～リカバリー・キャピタルとは?～
橋本 望(はしもと のぞむ)
11:45～分科会のインフォメーション
12:00～△昼休憩△
(昼食)
ロビーにて各団体ブースでの展示をご覧ください
(分科会会場へ移動)
13:00～分科会
各種依存症(アルコール、薬物、ギャンブル、
アダルトチルドレンなど)の当事者および
家族の自助グループ、当事者団体など
14:00～△休憩△
(ホールへ移動)
14:15～当事者、家族からのメッセージ(体験談)
16:10～質疑応答
16:30 閉会

会場へのアクセス



主催／鳥取アディクション連絡会

■主な構成団体

NPO法人鳥取県断酒会、NPO法人鳥取ダルク、とっとり喫煙問題研究会、少年問題を考える鳥取の会
鳥取ダルクを見守る会、全国ギャンブル依存症家族の会 鳥取、チャペル・ハーモニー